

★ EXHIBIT No

9. P.S. 108 3291

東條、島田陸海兩相は十二日、貴衆兩院、
本会議、四月以後、陸海兩軍、作戰、経過、
に報告を爲し

☆ PS Doc No. 3291-A

P2 ☆

東朝

封鎖完壁の布陣

重慶を運糧回す同

説説相海

揚子江方面作戦

帝國海軍在支作戦部隊は陸軍部隊と緊密なる協同の下に極めて度大なる地域にわたり、幾多の困難を克服して、勇戦奮闘し、いよいよ聖戦目的の達成に努めてゐる。揚子江方面作戦は河はるの久。理にわたり揚子江上流よりこれに連なる水路の安全確保を主とするとして所要水域の機雷その他障礙物を排除清掃するは勿論附近に蠢動する敵兵に對し、は、水上艦艇、陸戦隊および航空部隊等をして積極作戦を実施し、その撃破に努めてゐる。

その主たるものは九月中旬陸軍部隊と協同して湖南作戦を実施し、航空作戦も陸軍部隊、陸軍部隊嚮導および陸戦隊をしてその管内の地要地の攻奪等には、多大の戦果を挙げ、その江上部隊の作戦に極めて地味なる上に機雷処分、如く大なる困難と危険とを伴ふ作業。多量の中隊支那の文藝版にも揚子江の交通の安全と確保し、作戦部隊の後方補給路を維持する重要な任務を、いさめし、断と許さる。江上部隊將兵は連統不斷のやむる困難を排除、一つ不仕務と遂行してゐる。

沿岸封鎖作戦

沿岸封鎖作戦は全支八の里の海岸線にわたり敵側の海上交通を遮断し、これに因聯する沿岸諸作戦に仕するもので、

IPS doc No. 3291-A

戦行、東亞地区に踞する敵軍、本據を襲撃し、大
。戦果を擧げ、島根沿岸を襲撃する、向に示して居る。
以上は支那における帝皇海軍作戦の概要である。これ
閣下、帝國海軍部隊が、日下向き、南部佛印
方面に進駐し、これに師威相通を、これら部隊は
英越障也、これに、銳意帝國、武威發揚に努めて
る。
今や將命石軍は以上。如く我軍の作戦と、我々
疲弊困憊により、戦意全く喪失し、僅に余命を保
つてゐる状態である。(ついで別項、如く決意を闡明)
今はこの機会に、海軍全般に對して與へられ、
熱誠溢る、御支援に對し、海軍將兵を代表
して深甚なる感謝の意を表す。

☆
F4

J.P.S. Doc. No. 3291-A

嶋田海相決意報告

今や國際情勢はよく急迫し帝國はまさに未曾有の重大時局に直面し帝國海軍の責務眞に重大なるを痛感してゐる。將兵一同よく浮勵の誠をいたし上 大元帥陛下の宸襟を忝人に奉ると共に下金國民の期待に副ふことを固く決意してゐる。

東條陸相報告

北は滿洲、南は佛印、東亞の廣大なる地域に配置せられた皇軍は蒋介石側屈服のため努力すると共に東亞共榮圈確立のため殷石不動の態勢をとって軍紀よく嚴正威武を中外に示し、いかなる國際轉機に処するも常にこれに即應し得る準備を完了してゐる（拍手）
……中略……今や時局の重大性はまさに言語に絶してゐると言ふ。金陸軍はこれにまさしく有形無形の戦力を充實し上 聖慮を忝人に奉るとともに下銃後の熱誠に應へんことを期してゐる。

1PS Doc No. 3291

證明書

文書司
國際警察部

第 三 三 九 一 一 A 號

典據及公正之證明

余阪本イヅミ、余が下記資格を於て、即ち調査部長として朝日新聞社に公的関係を有し、之に上並該職員として余が故に添付せる一頁より成る十九百四十七年一月二十六日十七日附下記題名即ち朝日新聞報亭、文書、保登、はるるにトヲテ證明す。
余、更に添附、複寫、其文書を東京朝日新聞社中、発行原本より、寫し、之にトテ證明す。

十九百四十七年一月二十六日

東京に於て署名者

當該職員署名欄

右、者、公的資格
證人

阪本イヅミ (印)
調査部長
シ
ス

公正之證明

余、ハ、一、後、之、ハ、余、將全國最高指揮官總司令部、因事下、天、九、上、注、上、記、證明書、余、ハ、公務上、朝日新聞社、上、記者、名、職、更、入、手、之、ハ、之、トテ、證明す。

十九百四十七年一月二十六日

東京に於て署名者

氏名欄

右、者、公的資格

證人

國際警察部検査官

シ
ス